三重県聴覚障害者支援センター　〔毎月５日発行〕　２０１８年２月号

みえセンター便り　No.63

１月末から２月にかけて積雪やインフルエンザの大流行など深刻なニュースが続いています。そんな中、先日の皆既月食が見られるというニュースに何となくワクワク。いつもと違った月を寒いながらも観察できました。みなさんも見られましたか。

■心のバリアフリー教室及び交流事業『盲ろう者の日常生活とニーズ』を実施しました！

昨年12月に志摩市で開催した心のバリアフリー教室及び交流事業『聞こえないことで悩まないで』に続いて、２回目の今回は盲ろう者の啓発や交流を目的に、センターで実施しました。

２月２日、『盲ろう者の日常生活とニーズ』のテーマで、「三重盲ろう者きらりの会」に協力をいただき、盲ろうの方が困っていること、理解してほしいこと、生活の中で工夫していることなどを約１時間お話いただきました。

また後半部分は歩行訓練士の戸松伯子さんより、「基本的な手引の方法」について教えていただきました。

【参加者からの感想の一部です！】

盲ろう者との関わり方が知りたくて参加しました。

心のバリアフリーという言葉はまず自分の心からバリアを外すことだと知りました。

環境さえ整えば、誰もが社会参加できるのだと。そのために介助員を増やしてほしいのだという思いが伝わってきました。

ご協力いただいた盲ろう者の皆さま

■毎年９月23日は「手話言語の国際デー」に

昨年12月19日に国連の第72回総会で、日本を含めて半数を超える98カ国が共同提案者となった、９月23日を「手話言語の国際デー（International Day of Sign Languages）」と宣言する決議が採択されたそうです。

決議文では、９月23日を「手話言語の国際デー」と定め、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう、国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高めるための手段を講じることを促進するとしています。

この９月23日は1951年にＷＦＤ（世界ろう連盟）が設立された日で、現在は、前後の一週間が国際ろう者週間として祝われていますが、これからは９月23日が「手話言語の国際デー」として祝われることになりますね。

【知ってました？「補聴器の日」】

３月３日といえば、「みみの日」で有名ですが、実は「補聴器の日」もあるのです。

1999年に、日本補聴器販売店協会と日本補聴器工業会が毎年６月６日を「補聴器の日」に制定しています。

なぜ、６月６日なのかというと、「６を２つ向かい合わせにすると耳の形に見える」「耳に補聴器をつけると、耳（３月３日）にさらに補聴器という聞こえを補うもう一つの耳を付けることから、３月３日×2=６月６日」という意味もあるのだそう。

三重県聴覚障害者支援センター
〒514-0003　三重県津市桜橋２丁目131　三重県社会福祉会館５階　FAX (059) 223-3301／TEL (059) 223-3302
http://www.deaf-mie-center.com/　e-mail : deaf.mie-center@vivid.ocn.ne.jp
❏利用時間　午前８時３０分～午後５時　❏休館日　土曜日、日曜日、祝日、年末年始

三重　聴覚

字幕映像ライブラリー NEWS

1 月末は大雪など突然の極寒が続きましたね。あまりの寒さに我家の猫もストーブの前から離れませんでした。そういえば、昔は暖をとるものに火鉢とかありましたっけ。炭火に手をかざしながら、なんとなくホッと落ち着いたのを覚えています。しかし、今回紹介するのはその「炭」の負の歴史です。

なお、「借りたいけど、なかなかセンターに行くヒマがない～」とお嘆きのアナタ、大丈夫です。郵送で貸出や返却ができるんです。詳しくは当センターホームページで！

■字幕映像ライブラリー 今回のイチオシ作品 はこれです！

『三池 終わらない炭鉱（やま）の物語』

1997 年 3 月 30 日、日本で一時は全国の石炭の四分の一を掘り出し、我が国最大の規模を誇った三池炭鉱は閉山しました。その坑道は有明海の下に迷路のように伸び、もっとも深い所では海面下 600 メートルもあったといいます。しかし、その歴史は「負の遺産」とも言われます。

囚人労働、強制連行、三池争議、炭じん爆発事故･･･。過酷な労働を引き受け、誇り高く炭鉱（やま）に生きた男と女たちの証言を聞き続け、7 年がかりで完成させたのは、社会派ドキュメンタリー作品を作り続けてきた熊谷博子監督です。

この作品は、危険な場所で石炭を掘り続け、日本を支えてきた人々にスポットを当てることで、150 年以上にも及ぶ三池炭鉱の歴史に初めて正面から向かいあった映画です。

■手話通訳付きの行事のお知らせです！

■第 1 回東海聴覚障害者大会 in みえ

日　　時：2018 年 2 月 24 日(土)10 時～15 時
場　　所：四日市市総合会館 視聴覚室
内　　容：

●記念講演『東海を１つに！～近畿ブロックの取り組みから～』
清田 廣氏 （公社）大阪聴力障害者協会理事会相談役

●手話のつどい『手話の歴史 ～昔の手話と今の手話の違い～』
高塚 稔氏　日本手話研究所 手話総合資料室

●青年のつどい『デフリンピックから見えたもの』
川俣 郁美氏　デフリンピック日本選手団 総務

●運動のつどい『ろうあ運動』
服部 芳明氏　東海聴覚障害者連盟 副理事長

参 加 費：会員（各県ろう協会/各県通研/各県サ連）2,000 円
会員以外 3,000 円

問合せ先：東海聴覚障害者連盟 事務局
Email：toukai.deaf@gmail.com